

奥秩父 青笹川（笹吹川流域）沢登り 山行報告

【日 程】2018年9月9日（日） 晴れ

【参加者】CL 柘植 SL 鈴木憲 高地 井上里 石井 清野 加藤 鶴田（記録）

【行 程】青笹集落（駐車）9:00～入渓 9:40～大滝 12:45～林道 15:10～青笹集落 17:30

【内 容】

笹吹川沿いの道を北上し乾徳山登山口を過ぎると青笹集落に入る。ひっそりした集落内の集会場の脇の駐車場に車を止めさせていただく。沢支度を整え足下に瀬音を聞きながら歩くこと30分、堰堤上部より入渓する。水量が多い。沢は明るくひらけ兩岸の緑と勢いのある水流が好ましい雰囲気だ。しばらくして現れるゴルジュは右岸を大きく巻いていく。急斜面のトラバースと流れに下りる10m位の崖の下降はリーダーのセットしてくれたザイルが心強い。



ゴルジュ帯を行く



水量多く沢浴いは厳しい



トラバース



最後は懸垂で降りる

この沢は堰堤が所々にあり、しかも見上げるように高い。幅いっぱいになる水流は美しいが乗っ越すのに苦労する。小滝群を快適に越えていくと5Mほどのヒョングリの滝に出る。落下中の水が吹き上がる様にみな歓声を上げる。そしてすぐ6Mほどの堰堤状の滝。この辺りが核心部だろうか。しばらく河原を行くと15Mの大滝だ。黒褐色の1枚岩を背に豊富な水量が一気に落ちる姿は迫力いっぱいだ。一休みの後右岸を高巻くが上に追い上げられることなく滝の落ち口近くに素直に出られた。先頭に行く方の的確な誘導に感心する。



きれいな滑滝



6M 堰堤状の滝

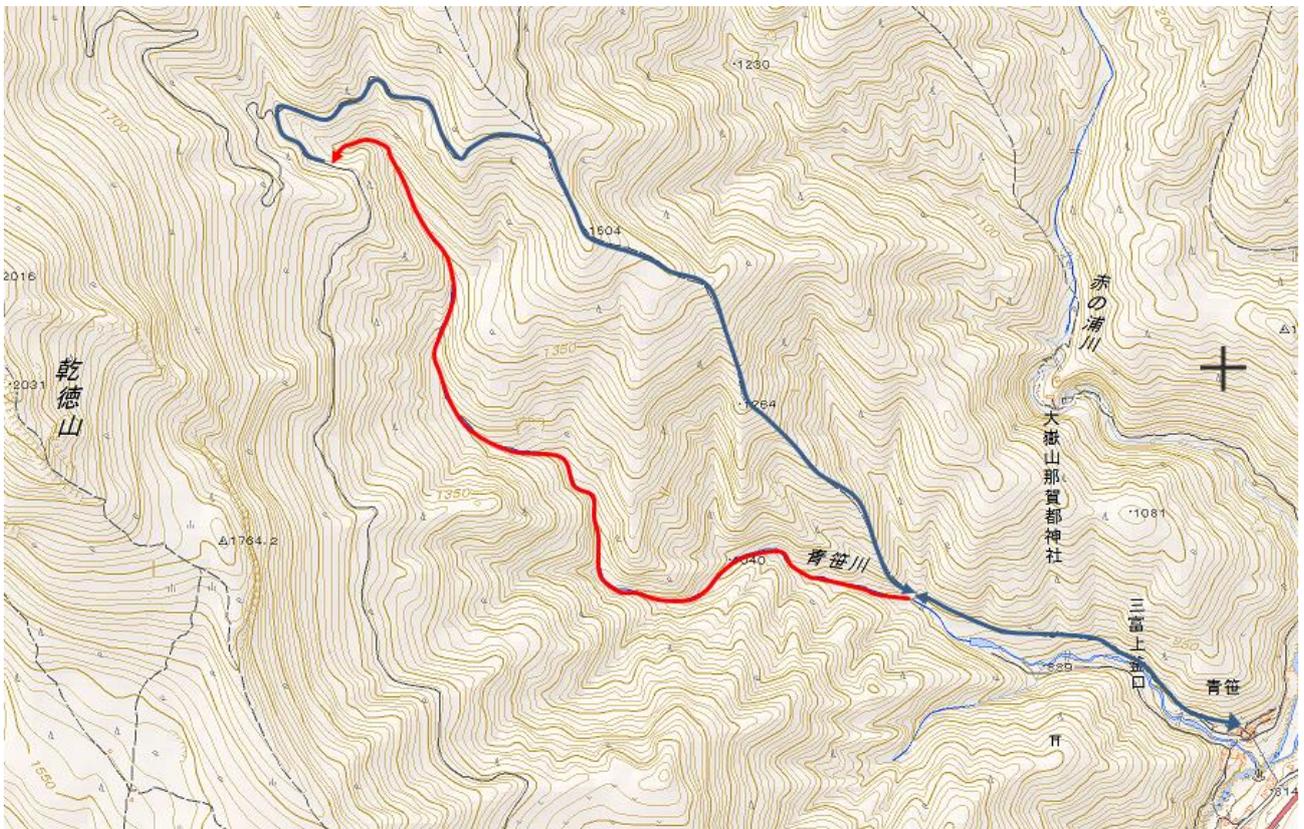


大滝をバックに

このあと堰堤がいくつか続く。水量はいっこうに減る気配を見せない。奥秩父の沢ですね。大滝から三つめの堰堤を越えて下降に入る。下の河原が近くなってきたとき少し先を行く高地さんが斜面に座り込んだように見えた。あとでわかったのですがこのとき斜面を落ちてきた浮石で高地さんが左足を痛めたのだ。下に降りて鈴木さんの持っていた消痛パックを痛めたふくらはぎに張り、荷物を皆で分担した。沢は林道工事の跡などが見られるようになり、遡行は終了して右岸の急斜面をよじ登り林道に出た。沢支度を解き放ち青笹集落への下りに向かう。高地さんは少し足を引きずるようでしたが、しっかりした歩き方なの

で安心してた。この件については柘植リーダーの報告をご覧ください。
林道をしばらく行き、古い道標に導かれて山道に入って尾根を下っていく。一部踏み跡が定かでないところもあったがリーダーの的確な先導で青笹集落に着いた。このくだりは結構長かったが、高地さんは最後まで歩き通された。今にして思えば大変なことだったと推察します。一日も早く回復されることを祈ります。高地さんが足を痛めた場所は斜面が不安定なところだったように思います。後ろにいた私は、皆足元に気をつけようという呼びかけもできず心苦しいです。

沢はなかなか素晴らしく、実力もないのに「沢は水量あってこそ」と思っている私には貴重でした。柘植リーダーを始めメンバーのみなさんありがとうございました。(鶴田)



青笹川は乾徳山の東側の谷